



modulation hospital

小沢 理紗 (おざわ りさ)

東京電機大学 工学部 建築学科

敷地は東京都杉並区阿佐ヶ谷南。

この地域には、「杉並病」という公害が今もなお残っている。近隣の不燃ごみ圧縮施設によって排出される物質が原因としか明らかになっておらず、社会からの認知度も低い公害病である。

日常の生活を満足に送ることができない、しかし社会にも認められていない、そんな杉並病患者のための治療施設を提案する。

周囲に影響されて壁が抑揚することで沢山の空間が生まれ、「治療する」以外に様々な機能を持ったこの建築は、患者にとって新しい「街」となる。

